

理工学部・数学科 履修モデル

2020年4月1日

学年	1年次		2年次		3年次		4年次	
修得すべき能力	しっかりした基礎能力を養う		数学の専門知識を固める		理解力と思考力を磨く		集大成として数学の卒業研究	
	英語及び人間関連科目以外の専門分野につながる科目として基礎解析学、線形代数学及び基礎数学を重要な科目としています。自然科学系の基礎科目は視野を広げるのに有効です。		1年次に引き続き、英語、人間関連科目、そして数学の基礎となる科目を履修します。選択の専門科目には、一般位相演習、数理科学概論などがあります。		選択できる専門科目の幅が広がり、より深く自分の関心のある分野の学習ができるようになります。セミナー形式によって、少人数制による徹底した指導が受けられます。		選択科目がメインとなり、4年間の仕上げとして各教員の指導のもとに卒業研究を行います。選択科目は代数・幾何・解析の各分野の特別講義、確率論、などです。	
一般教養科目	前期 人間関連科目 英語	後期 人間関連科目 英語	前期 人間関連科目 英語	後期 人間関連科目 英語	前期	後期	前期	後期
	基礎解析学1A 及び演習 線形代数学1A 及び演習 基礎数学A 及び演習	基礎解析学1B 及び演習 線形代数学1B 及び演習 基礎数学B 及び演習	一般位相A	一般位相B				
専門基礎科目			数学研究基礎A 一般位相演習A	数学研究基礎B 一般位相演習B	数学研究1	数学研究2	卒業研究(通年)	
専門科目			基礎解析学2A	基礎解析学2B	解析学1A 複素解析学A 常微分方程式論1 数理統計学1	解析学1B 複素解析学B 解析学2 常微分方程式論2 数理統計学2	解析学特別講義1A 解析学3 確率論1	解析学特別講義1B 解析学特別講義2, 3 確率論2 解析学と計算機
			線形代数学2A	線形代数学2B 数理科学概論	代数学1A 幾何学1A プログラム言語	代数学1B 代数学2 幾何学1B 幾何学2	代数学特別講義1A 代数学3 幾何学特別講義1A 幾何学3 マルチメディア表現法(*) 情報システム数理 情報通信数理	代数学特別講義1B 代数学特別講義2, 3 代数学と計算機 幾何学特別講義1B 幾何学特別講義2, 3
関連専門基礎	物理学1 化学	物理学2 電子計算機及び実習1		電子計算機及び実習2				

注) 専門領域科目(一般科目以外)で、**太字**の科目は必修で、下線は選択必修、それ以外は選択。
また、数学研究1, 2と卒業研究は各研究室ごとに行なわれる。
(*)の科目は夏期集中。

教職関係

教員免許の取得を目指す者は、他に教職科目の履修が必要となるが、その一部として以下の科目も開講されている。

教職に関する科目

3年次	数学科教育論1、数学科教育論2
-----	-----------------

教科に関する科目

3年次	情報と職業
3,4年次	データベースシステム、計算の理論1、人工知能、システムプログラム、コンパイラ

また2年次に介護等の体験、4年次に教育実習を行うことが必要となる。

【想定される卒業後の進路】

- 金融関連(銀行、保険、証券)、電子通信関連、ソフト関連等の、多種多様な企業
- 国公立・私立の中学・高校教員(教員免許の取得が必要)
- 大学院進学(理工学研究科数学専攻、他大学の数学系大学院)
- 国家公務員、地方公務員